

ADVC-50
ユーザーズマニュアル
V1.0J

canopus

ご使用の前に

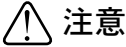
■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノーブス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいております。



●他社製品と併用されるときのご注意

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



表記について

- 本書では、ADVC-50の装着と、インストール方法について説明しています。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、Canopusおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。



警告

- 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「てんかん・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

ADVC-50
ユーザズマニュアル
Version 1.0J
June 13,2002

Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

目 次

はじめに	5
ご使用に当たっての留意事項	5
パッケージ内容の確認	5
■ ADVC-50 同梱物	5
□ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書	6
故障かな？と思ったら	7
ADVC-50 の特長	8
映像と音がずれない「Locked Audio」.....	8
入力モード自動切り替え	8
NTSC/PAL 両対応	9
5 インチベイでも PCI スロットでも設置が可能	9
各部の名称	11
トップビュー	11
ジャンパの説明	12
フロントビュー	13
装着	14
5 インチベイへの装着	14
PCI スロットへの装着	16
アナログ映像をパソコンに取り込む	19
アナログビデオとパソコンを接続	19
アナログビデオの映像をパソコンに取り込む	19
アナログ映像を DV にダビング	20
アナログビデオと DV を接続	20
アナログビデオの映像を DV にダビング	20

はじめに

● ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

● パッケージ内容の確認

ADVC-50のパッケージの中に次頁の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

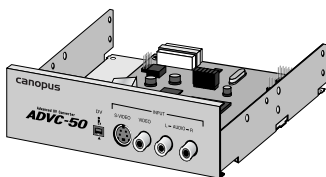
カノープス カスタマーサポート

電話：078-992-5846

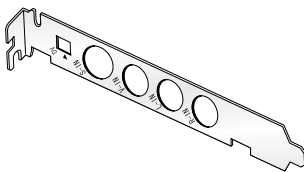
(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

■ ADVC-50 同梱物

☐ ADVC-50



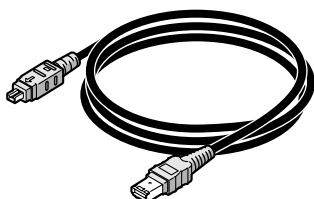
☐ ブラケット



☐ ブラケット用目隠しシール

☐ 取り付け用ねじ(4本)

□ DV ケーブル(6pin-4pin)



□ マニュアル

- ・ユーザズマニュアル(本書)

□ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください。

ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。

紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理をご依頼になる前に、以下の点をご確認ください。

症状	原因／対策
電源が入らない。	→ 5 インチベイ装着時に ADVC-50 ボード上の電源コネクタが接続されているか確認します。PCI スロットでご利用の場合は電源コネクタの接続は絶対におやめください。
映像・音声が出力されない。	→ 電源が入っているか確認します（装着方法の違いにより給電方法が異なります）。本製品と DV 機器、DV カメラ、アナログビデオを接続するケーブルが正しく接続されているか確認します。
録画できない。	→ 入力された映像、音声データに著作権保護の信号が含まれている場合、色合いが暗くなる等、正常に録画することはできません。

以上をご確認いただいても正常に動作しない場合は、以下の当社サポート窓口までお問い合わせください（保証規定については保証書をご覧ください。）

操作方法などの使いかたのお問い合わせは

テクニカルサポート Tel. 078-992-6830

※当社が販売を行っていない製品にバンドルされている編集ソフトウェアなどのお問い合わせはお受けできません。

修理や保守部品のお問い合わせは

カスタマーサポート Tel. 078-992-5846

※塗装のはがれ、傷、コネクタ類の破損は無償保証の範囲外となります。

修理をご依頼される際は、以下の情報をご連絡ください。

- 製品名 ●シリアル番号
- ご氏名 ●ユーザー ID
- ご住所 ●電話・FAX 番号
- 不具合の具体的な内容

製品の最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

Canopus ホームページ <http://www.canopus.co.jp>

ADVCの特長

映像と音がずれない「Locked Audio」

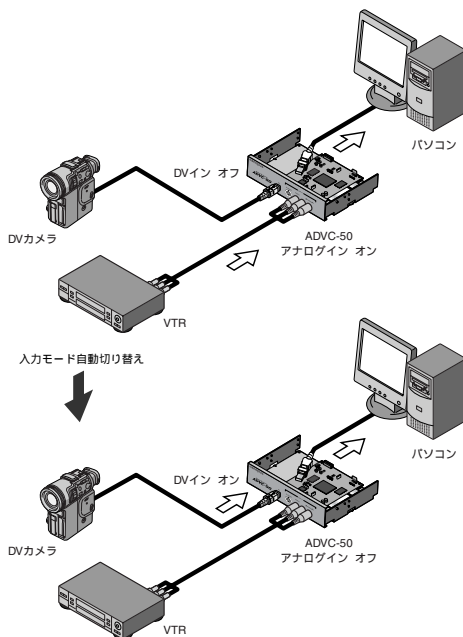
本製品は、音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化するLocked Audioを採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力で音声が遅延することがありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

- ※ Locked Audio 機能はアナログからDVに変換する場合のみ有効です。DV-DVの接続時には機能しません。

入力モード自動切り替え

本製品は、DV入力の有無を自動で検出する機能を搭載しています。DV信号とアナログ信号が同時に入力されている場合、DV信号が優先され、DV入力がなくなると、自動的にアナログ入力に切り替わります。スイッチで切り替える必要がありません。

- ※ アナログ信号入力時は、S端子接続が優先になります。
- ※ 一部のDV機器では、自動切り替えが働かない場合があります。



NTSC/PAL 両対応

日本やアメリカで使われるNTSCだけでなく、ヨーロッパ等で使われるPALにも対応しています。

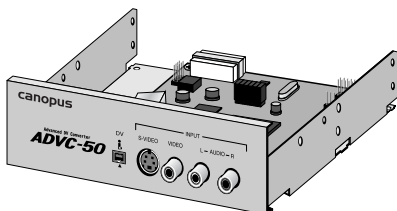
※ ADVC-50 は、NTSC/PAL に対応していますが、NTSC から PAL、またその逆の変換はできません。

5 インチベイでも PCI スロットでも設置が可能

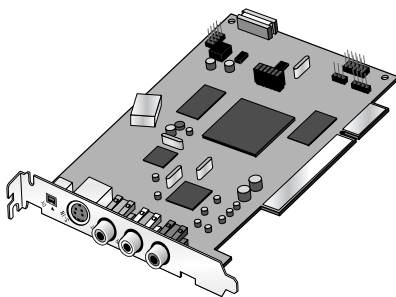
ADVC-50 はユーザーのPCスタイルに合わせて2タイプの設置方法が選べます。

1つ目のスタイルは、ADVC-50 をPCケースの5 インチベイにマウントする方法です。当社製EZDVや他社製OHC1 ボードをお使いのユーザーがADVC-50を使用することで、フロントアクセスが可能となります。

2つ目は、PCI スロットに設置する方法です。5 インチベイに空きが無いミニタワーや、ミドルタワーのユーザーでもADVC-50のボード部分のみを5 インチベイから取り外し、同梱されているPCI リアパネルを取り付けることにより、空いているPCI スロットに装着可能になります。この場合、電源はPCI バスから給電されるので、4 ピン電源コネクタを接続する必要はありません。



5インチベイにマウントする場合



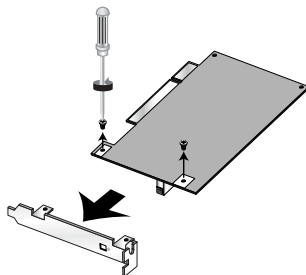
・PCI スロットに装着する場合



当社製 EZDV をご使用の方でパソコンの内部に DV ケーブルを取りまわす場合、付属のブラケットを使用してください(5 インチベイでご使用の場合)。

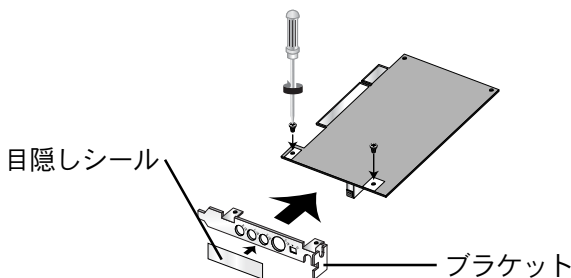
1

EZDV のボードを裏返し、ボードとブラケットをとめているねじ 2 本を取り外し、ブラケットを外します。



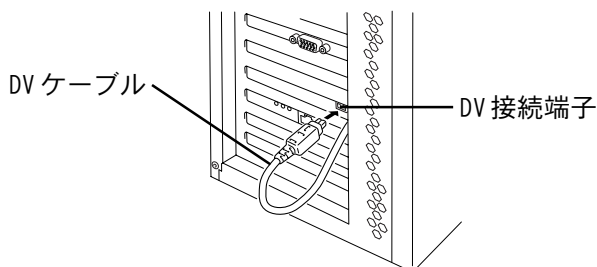
2

付属のブラケットに交換し、ねじ 2 本を取り付け、ブラケットを固定します。また、ブラケットの穴をふさぐために目隠しシールを貼ります。



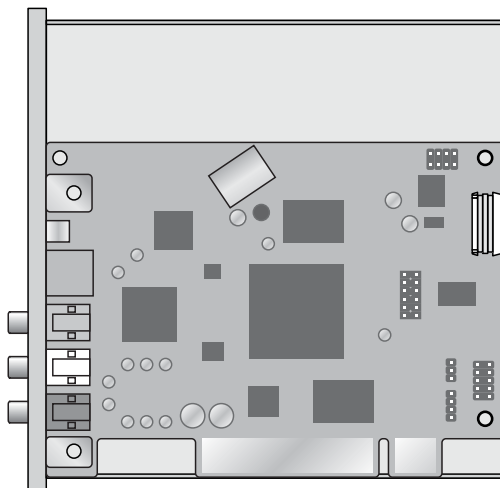
3

ADVC-50 に接続した DV ケーブルを EZDV のブラケットのスリットから通し、EZDV の DV 接続端子と接続します。



各部の名称

● トップビュー



- ① 内部接続用 DV 端子 (6pin) です。当社製 DV 編集システムおよび汎用 OHCI ボードと接続します。
- ② 電源 (4pin) 接続端子です。5 インチベイにて使用する場合は、ここに電源ケーブルを接続します。
- ③ 設定変更用ジャンプスイッチです。ショートさせている状態が ON となります (詳しくは次項の『ジャンパの説明』をご参照ください)。

● ジャンパの説明

ジャンパのON/OFFは下の図のような状態をいいます。

ON



OFF



		No.	MODE	ON	OFF
	1	1	Video Format	NTSC	PAL
	2	2	NTSC Setup Level	0 IRE	7.5 IRE
	3	3	Locked Audio Mode	Locked	Unlocked
	4	4	Audio Mode	48kHz	32kHz
	5	5	(Reserved)		
	6	6	(Reserved)		

JP7-SW1 VIDEO Format 設定

ビデオ信号形式を入力します。

ON:NTSC

OFF:PAL

JP7-SW2 NTSC SetupLevel 設定

黒(セットアップ)レベルを指定します。

ON:0 IRE(日本)

OFF:7.5 IRE(北米)

JP7-SW3 Locked Audio Mode 設定

Locked Audio モードの有無を選択します。(アナログオーディオ入力時のみ有効)

ON:Locked

OFF:UnLocked

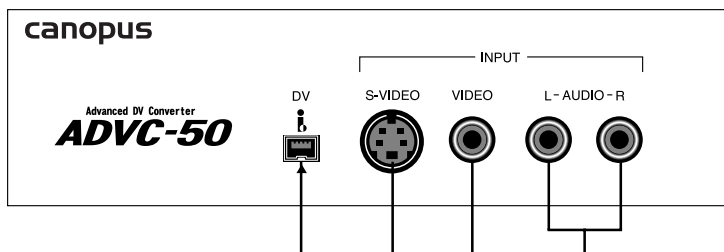
JP7-SW4 Audio Mode 設定

オーディオ周波数を選択します。

ON:48kHz 16bit

OFF:32kHz 12bit

● フロントビュー



① DV IN/OUT

DV 端子(4pin)です。

② S-VIDEO IN

S ビデオ入力端子です。

③ VIDEO IN

アナログビデオ入力端子です。

④ AUDIO IN L/R

アナログオーディオ入力端子です。

装着

● 5 インチベイへの装着

1

パソコンを終了して電源を切ってください。

2

ケーブル類を取り外してください。

3

パソコンのカバーを取り外してください。

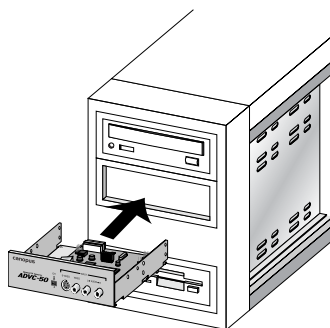
→ 取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

4

装着を予定している5インチベイのカバーを取り外してください。

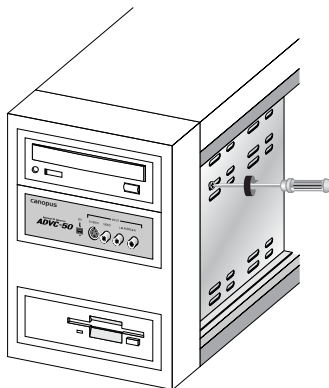
5

ADVC-50を5インチベイに挿入します。



6

付属のねじ4本を使ってベイをパソコンの筐体に固定します。



7

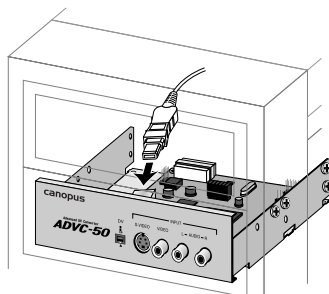
ADVC-50のボード上にあるDVコネクタと、お使いの当社製DV編集システムもしくは汎用OHC1ボードに接続したケーブルを接続します。

※ 付属のDVケーブル以外をお使いの場合、コネクタの形状によっては接続できない場合があります。



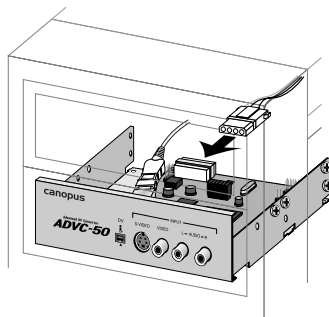
注意

一部の市販のケーブルでは奥まで刺さらない場合があります。



8

ADVC-50 背面の電源コネクタに電源ケーブルを接続します。



9

パソコンのカバーを閉じ、取り外したケーブル類を接続してください。

● PCI スロットへの装着

1

パソコンを終了して電源を切ってください。

2

ケーブル類を取り外してください。

3

パソコンのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

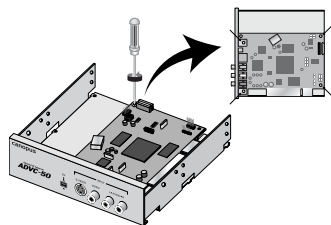
4

装着を予定しているPCI スロットのカバーを取り外してください。

→ 取り外したねじは、後の手順で再利用しますのでなくさないようにご注意ください。

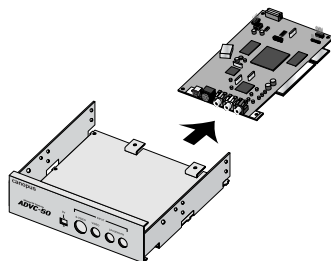
5

ADVC-50 ボードを取り外すために、
ねじ留めされている4箇所のねじを
取り外してください。



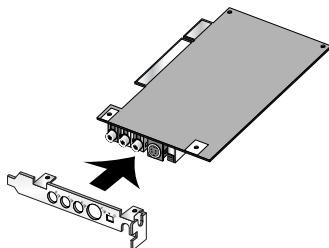
6

5 インチベイユニットから ADVC-50
ボードを取り外してください。



7

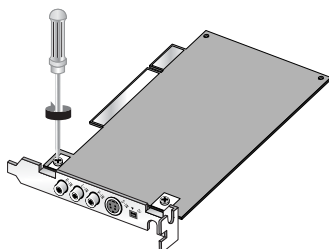
付属のブラケットを ADVC-50 ボードに装着してください。



8

手順5で取り外した2本のねじを使って、ねじ留めしてください。

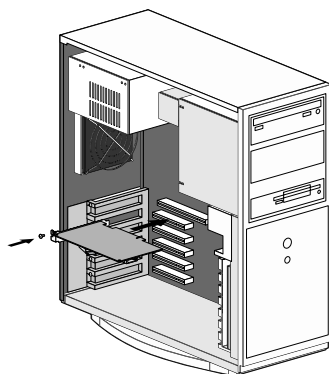
→ ブラケットとボードを固定します。



9

ブラケットを装着した ADVC-50 を PCI スロットに装着してください。

→ ADVC-50 は通常簡単にスロットに差し込むことができます。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、ADVC-50 をいったん取り外して、引っかかりの原因を確認してください。また、違うスロットへの装着を試してください。

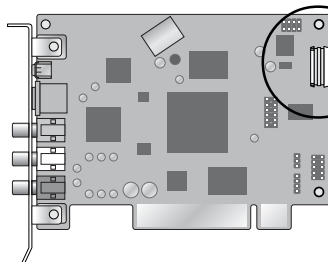


10

手順4で取り外したねじを使用して、ADVC-50 のスロットカバーを固定してください。



PCIスロットへ装着した場合は、電源はPCIバスより給電されます。ADVC-50ボード上にある電源コネクタには、絶対に電源ケーブルを接続しないでください。接続された場合、ボードを破損する恐れがありますのでご注意ください。



PCIバスより電源が給電されますのでこのコネクタに電源ケーブルを接続する必要はありません。

11

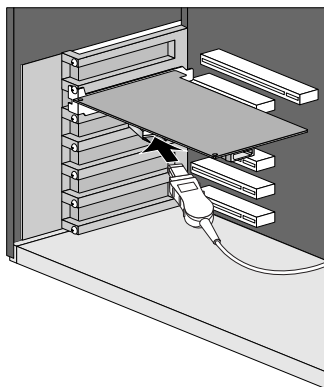
ADVC-50のボード上にあるDVコネクタと、お使いの当社製DV編集システムもしくは汎用OHC1ボードに接続したケーブルを接続します。

※ 付属のDVケーブル以外をお使いの場合、コネクタの形状によっては接続できない場合があります。



注意

一部の市販のケーブルでは奥まで刺さらない場合があります。



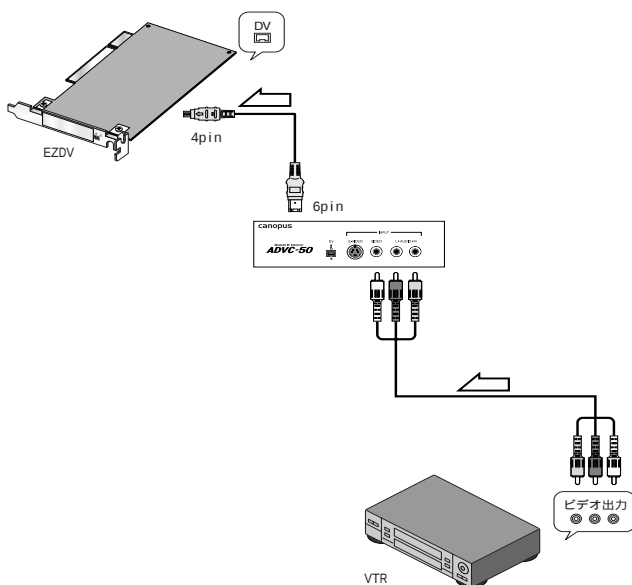
12

パソコンのカバーを閉じ、取り外したケーブル類を接続してください。

アナログ映像をパソコンに取り込む

● アナログビデオとパソコンを接続

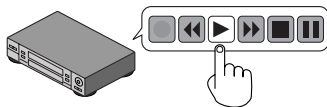
図のようにビデオと ADVC-50、パソコンを接続します。



● アナログビデオの映像をパソコンに取り込む

1

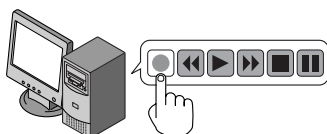
アナログビデオで取り込みたい映像を再生します。



2

パソコンで映像をキャプチャします。

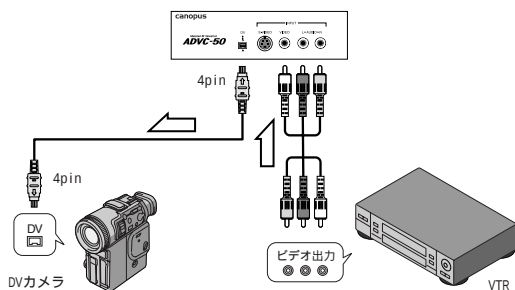
→ パソコンで映像をキャプチャする方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。



アナログ映像をDVにダビング

● アナログビデオとDV を接続

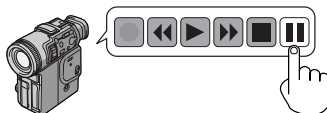
図のようにビデオと ADVC-50 を接続します。



● アナログビデオの映像を DV にダビング

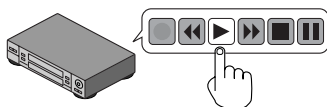
1

DVを録画一時停止の状態にしておきます。



2

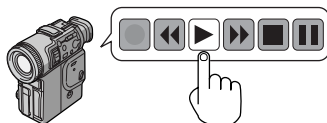
アナログビデオでダビングしたい映像を再生します。



3

DVの録画一時停止を解除します。

→ アナログ映像がDVテープにダビングされます。



■ ADVC-50 ハードウェア仕様

- ビデオ信号方式 : NTSC / PAL
- DV (パネル側端子) : 4-pin i.LINK コネクタ
- DV (内部端子) : 6-pin i.LINK コネクタ
- アナログビデオ (入力端子) : ミニ DIN 4 ピン (S-Video) x 1
ピンジャック (コンポジット) x 1
- アナログオーディオ (データ) : 48kHz 16bit 2ch
32kHz 12bit 2ch
(データフォーマットは4chですが、入力できるのはメインの2chのみで、サブの2chには無音が入ります。)
- アナログオーディオ (入力端子) : ピンジャック x 2 (ステレオ 1 系統)
- 電源 (5インチベイ装着時) : 4ピン電源コネクタから給電
- 電源 (PCI バス装着時) : PCI バスから給電
- PCI ボード長 : 135 mm